

# any

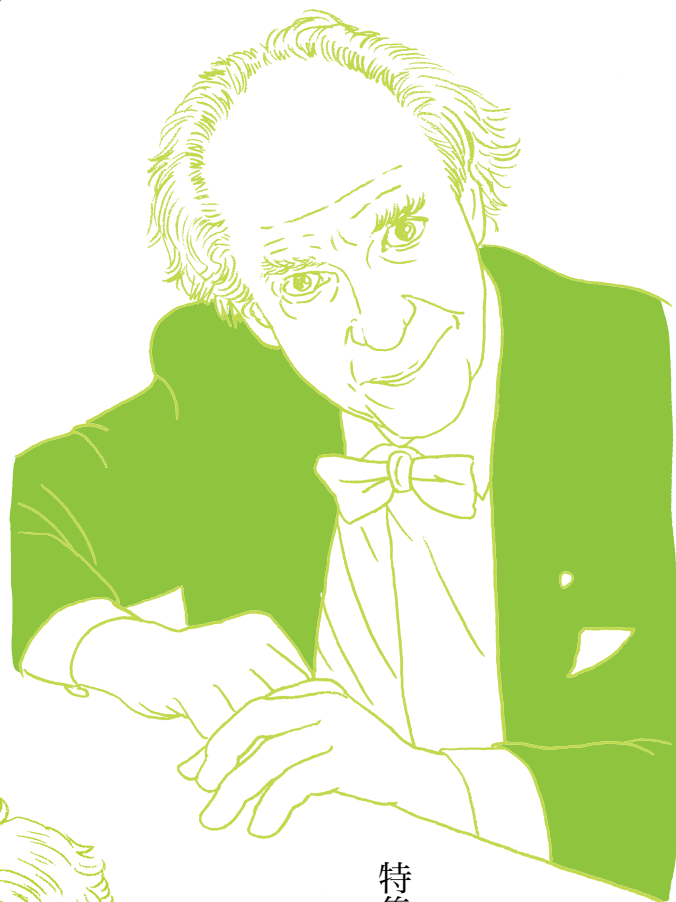
ars nova yamaguchi

「エニー」

spring 2014  
Apr.—Jun.

88

格調高き  
ウイーン  
正統派  
ピアニスト



特集

「パウル・バドゥラースコダ  
ピアノ・リサイタル」



特集

03 格調高き  
ウィーン正統派  
ピアニスト

パウル・バドゥラ＝スコダ  
ピアノ・リサイタル

ピックアップイベント

08 空に届け、詩よ、音楽よ

山口情報芸術センター

池田亮司 新作インスタレーション展

「supersymmetry(スーパーシンメトリー)」

世界に衝撃を与えるアーティスト池田亮司の最新作

中原中也記念館

中原中也記念館 開館20周年記念事業

第19回中原中也賞贈呈式 &

川上未映子×穂村弘トークセッション

ダンスにトーク、盛りだくさんの中也賞贈呈式

山口市民会館

Every Little Thing Concert Tour 2014

～FAN-FARE～

デビュー18年目のELTはますます輝く!

12 any 通信

◎アーティストボイス 文月悠光(詩人)

◎お先に試写しました 「ペコロスの母に会いに行く」

◎いらっしやいませ 喫茶ぼな一

◎GOOD GOODS 中原中也記念館公式ガイドブック「中原中也の世界」

◎My Favorite 今野恵菜(山口情報芸術センター 職員)

14 イベントカレンダー 4～6月

INFORMATION

特集  
「パウル・バドゥラ＝スコダ  
ピアノ・リサイタル」



20世紀の重要なピアニストの1人として大きな足跡を残し、  
現在も歩み続けるパウル・バドゥラ＝スコダ。  
1959年の初来日以来、  
日本でのコンサートも数えきれないほど行い、  
そのたびに彼は多くの日本の聴衆を魅了してきました。  
しかしながら、今年の春の日本ツアーをもって、  
来日を最後にしようという決意。  
そんな貴重な来日ラストコンサートを、  
山口でも5月に聴くことができるということで、  
ウィーンにいらっしやるバドゥラ＝スコダさんに、  
これまでの来日公演の思い出や  
今回のコンサートにかける思いを伺いました。

格調高き  
ウィーン  
正統派  
ピアニスト

# PAUL BADURA-SKODA PIANO RECITAL

フルトヴェングラー、  
カラヤンたちとの共演は、  
忘れがたい  
経験となっています。



パウル・バドゥラ＝スコダ Paul Badura-Skoda

1927年ウィーン生まれ。49年、フルトヴェングラーとカラヤンが、バドゥラ＝スコダの並外れた才能に注目、コンサートに招き、一夜にして世界的な大ピアニストとなる。ザルツブルク・フェスティバルで衝撃的なデビューを果たし、また、53年のニューヨークでの初コンサートは、たちまち、全席完売となった。それ以来、フルトヴェングラー、クリップス、ペーム、クナッパースツブッシュ、セル、ショルティなど超一流の演奏家と共演。レパートリーは、ウィーン古典派だけに限定することなく、バロックから現代音楽まで幅広い。200枚以上を誇る録音の他、指揮、作曲、教育、そして数々の国際コンクールの審査員など、多彩な活動を展開。ウィーン音楽の伝統を受け継ぐ貴重なピアニストである。

パウル・バドゥラ＝スコダは、ウィーンが生んだ伝説の巨匠ピアニスト。

ウィーンで音楽を学び世に羽ばたいたピアニストとして、  
デムス、グルダとともに、日本では「ウィーン三羽鳥」と呼ばれ、  
長く音楽ファンの間で親しまれてきた音楽家です。

そのデビューは3人の中でもっとも華々しく、  
1947年に開かれたオーストリア音楽コンクールで優勝し、翌年デビュー。

49年には、巨匠フルトヴェングラーと、壮年期のカラヤンという  
新旧を代表する2人の指揮者との共演で、  
一躍世界中から注目を集めることになります。このとき、若干22歳。

それから半世紀以上が経ち、80歳を超えた今でも、  
年齢を感じさせないその演奏はますます研ぎ澄まされ、  
表現力豊かになって、世界中の聴衆を魅了し続けています。

**巨匠と呼ばれる方々とたくさん共演を果たされてきたスコダさんですが、とくに印象に残っている指揮者や共演者はいらっしゃいますか？**

対照的な2人の指揮者のことがやはり印象深いですね。偉大な指揮者の一人、カラヤンはパワーに満ち溢れ、なまめかしい音を生み出す指揮者でした。フランクの交響的変奏曲を演奏した時、2人で1週間のプライベート・リハーサルを行いました。その時、カラヤンは私に、この作品をどのように演奏すべきか、どうすれば一番良い音色を生み出すことができるのかアイデアを教えてくださいました。

そしてもう一人の偉人、フルトヴェング

ラーは、オーケストラの音楽をまるで魔法のように変化させ、次々に新しい音を生み出し聴衆を感涙させた指揮者として印象に残っています。モーツァルト、シューベルト、ブラームスの作品を、すでにどんな音楽かを聞いて知っている聴衆にも、まるで初めて聴くかのような新鮮な印象を与えてくれたのです。共演の時は、私のやり方でモーツァルトを演奏させてください、どんなテンポで演奏したいのかも聞いてくれました。フルトヴェングラーは驚くほど謙虚な偉人でした。彼らと共演する機会を得られたことは大変幸運なことでしたし、私にとって忘れ難い経験となっています。

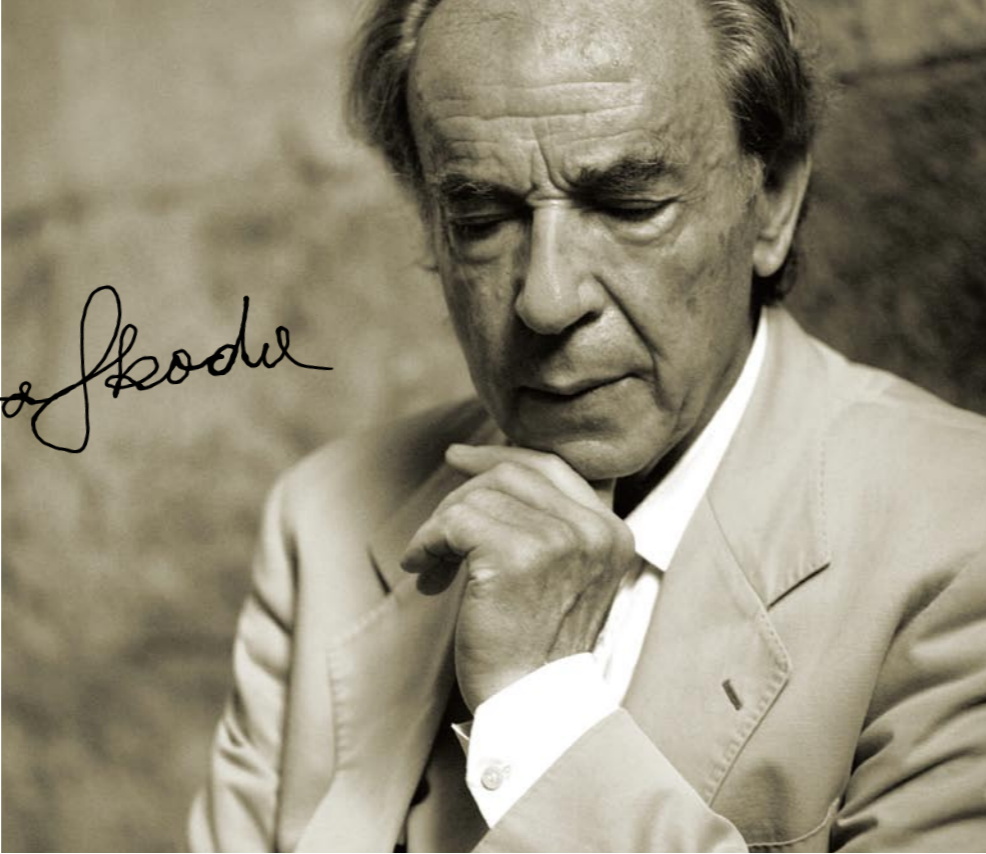
**最初に覚えた日本語は「アリガトウゴザイマス」と「ハシ」でした。**

**日本でも数えきれないほどのコンサートを行っていらっしゃいますね。記憶に残る思い出はありますか？**

初来日は1959年12月～1960年2月。その頃の日本の印象は、まだ東京に高層ビルはなく、小さな家や庭がところ狭しと立ち並び、さながら大きな村といった感じでした。しかし、その4年後に再来日した際、東京は既に変わっていました。ホテルの窓からは、64年のオリンピックに向け

て建設中の大きな橋の建築現場が見え、ウィーンの常識では信じられないくらいの速さで開発が行われていることに、とても驚いたのを覚えています。

また、お箸についての思い出もあります。来日の2日目にオーストリア大使館にあるベーゼンドルファーのグランドピアノを弾きに行ったのですが、3～4時間の練習のあと、ひどくお腹が空いてしまい、小さな日本食レストランに連れて行ってもらいました。でも、そのレストランでは外国語を話せる人がいない上に、フォークもナイフもないお店で困りました。生まれて初めて誰の助けもなく、箸を使って食事をするようになったのです。どうすれば



Paul Badura-Skoda

演奏の時は私の全ての能力、愛情を使って、偉大な作曲家たちのメッセージを伝えようとしています。

よいのかまったく分からず、最初は両方の手に1本ずつ箸を持ってみたりと、色々試したのですがうまくいかず…。でも、本当にお腹が空いていたので、徐々に箸の使い方が分かってきてなんとか20分でマスターし、無事食事をすることができました。そのため、最初に覚えた日本語は「アリガトウゴザイマス」と「ハシ」でした。

日本は音楽に対する素晴らしい愛情に溢れています。

日本の聴衆に対してはどんな印象をお持ちですか？  
50年以上も日本の皆さんとは、音楽をもとに愛と尊敬を感じることができる素晴らしい

らしい関係を築いてきました。演奏を通じてほんとうに多くの日本人ファンと知り合うことができ嬉しく思っています。他国に比べ、日本は音楽に対する素晴らしい愛情に溢れています。ただ残念なのは、ヨーロッパに比べて、日本では現代曲、20世紀以降の音楽を素晴らしいと感じる人がまだ少ないように思います。

いつも演奏前はどんな気持ちですか？演奏に集中するためのリラックス方法はありますか？

コンサートの前はいつもワクワクしていますし、緊張もします。今日聴きにきてくださった皆さんと、音楽の素晴らしさや愛を分かち合うことができるかどうかを常に考えています。もしそれがうまくいけば、リラックスできます。そして、演奏の時は私の全ての能力、愛情を使って、偉大な作曲家たちのメッセージを伝えようとしています。普段心掛けていることは、まず、日常的な練習(1週間に1日休みます)。また、体操、公園や森の散歩、詩を読むこと、健康的な食事(食べ過ぎないこと)です。そして一番重要なのは、心の中を穏やかに保つ

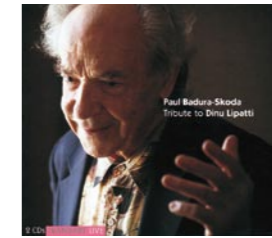
# これを聴けば“パウル・バドゥラ＝スコダ”が分かる！

## 「ハイドン:ソナタ集、変奏曲集 (解説日本語訳付)」



ハイドン歿後200周年を記念してのリリース。使用楽器は、壮年期以降ハイドンが絶賛してやまなかったジャンツ製フォルテピアノ。80歳を超えてなお衰えぬばかりか、さらに経験豊かに、さらに深まりゆく「いまのバドゥラ＝スコダ」の音楽性がじっくり堪能できる。  
[カタログNo: A352 / レーベル: Arcana]

## 「ディヌ・リパッティに捧ぐ ～ブザンソン・ライヴ2010」(2CD)



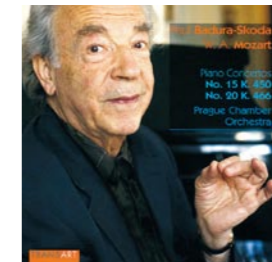
天才ピアニスト・リパッティが亡くなる2ヶ月前にフランス・ブザンソンで開催したリサイタルと同じ曲目を組み込んで、巨匠バドゥラ＝スコダがリパッティの思い出に捧げた一夜の演奏会の記録。胸に沁みる秀演が展開されている。  
[カタログNo: TR170 / レーベル: Transart]

## 「シューベルト:ソナタ第21番、3つのピアノ曲」(2CD)



バドゥラ＝スコダらしく楽器選択にこだわり、フォルテピアノ、スタインウェイ、ペーゼンドルファーの3種類のピアノを使用したソナタ第21番を収録。演奏楽器によって同じシューベルトの曲がどう違って聴こえるのか比較ができるようになっている。  
[カタログNo: GEN12251 / レーベル: Genuin]

## 「モーツァルト:ピアノ協奏曲第20番、第15番」



バウル・バドゥラ＝スコダ(ピアノ、指揮) プラハ室内管弦楽団  
バドゥラ＝スコダによる弾き振りでのモーツァルトのピアノ協奏曲。第20番第2楽章の迷いのない音楽運びや、終楽章の品格に満ちた決然とした表情など、圧巻。活き活きとした味わいの極地のピアノ演奏と、プラハ室内管弦楽団による共演が楽しめる。  
[カタログNo: TR175 / レーベル: Transart]

こと。そのためにいつも神に短い祈りを捧げています。

激動の時代を生き抜いたウィーンゆかりの作曲家たちの音楽をご堪能ください。

今回の演奏曲目はどんな意図でプログラムされていますか？

この最後の日本ツアーにあたり山口では、ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンという私の「故郷」であるウィーンに最も関係の深い作曲家の作品を取り上げます。モーツァルトは、短調の作品をほとんど残しませんでした。今回演奏するハ短調のソナタは劇的で、後世の音楽家たちに多大な影響を与えた曲の一つです。ハイドンは、モーツァルトやベートーヴェンより多くの短調の作品を残しました。ハ短調のソナタは、彼が経験した苦しみがよく表されています。ベートーヴェンのハ短調のソナタは、彼の激しい性格がそのまま曲に打ち出されており、二長調のソ

ナタも、彼に起こる悲劇の最中に作曲された作品です。伝えるべきは詩情であり、喜びであり、悲しみであり、そして言葉の意味を超越した最も崇高なるもの、すなわち音楽です。音楽、それは言葉に対してあまりに雄弁です。激動の時代を生き抜いたウィーンゆかりの作曲家たちの音楽をどうぞご堪能ください。

最後に、スコダさんの演奏を楽しみにしている方へ向けてメッセージをお願いします。初めて日本に訪れたのは、1960年という近代化の最中でした。その初来日の時に、私は日本に「一目惚れ」し、日本のクラシック・ファンの人たちの熱いまなざしをひしひしと感じ取り、喜びに満ちたことをよく覚えています。この美しい神秘的な国で「最後の来日公演」を迎えることは大きな名誉です。日本では、おいしい日本食と温泉を堪能できることも、私の心を癒してくれる大事な要素の一つです。山口には温泉もあり、海に囲まれた土地で食が豊かだと聞いていますので、楽しみで仕方ありません。もちろん、皆さんの前で演奏できることにも、とてもわくわくしています！

## PRESENT

「パウル・バドゥラ＝スコダ ピアノ・リサイタル」の公演チケットやCDをプレゼントします。

【申込方法】ご希望の方は下記のプレゼント番号を明記の上、住所・氏名・年齢・電話番号・e-mail等の連絡先、今号の「any」の感想をご記入の上、4月30日(水)までにハガキ(当日消印有効)・FAX・e-mailでご応募ください。

A 「パウル・バドゥラ＝スコダ ピアノ・リサイタル」公演チケット (ペア5組)

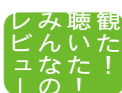
B パウル・バドゥラ＝スコダ CD 「ハイドン:ソナタ集、変奏曲集 (解説日本語訳付)」(1名)

C パウル・バドゥラ＝スコダ CD 「モーツァルト:ピアノ協奏曲 第20番、第15番」(1名)

【あて先】〒753-0075 山口市中国町7-7 (公財)山口市文化振興財団 「any vol.88 特集プレゼント」係 FAX:083-901-2216 e-mail:any@ycfcp.or.jp ※当選の発表は、発送をもってかえさせていただきます。

## パウル・バドゥラ＝スコダ ピアノ・リサイタル

2014年5月30日(金) 18:30開演 (30分前開場) ※演奏曲目についてはチラシやwebサイト等をご参照ください。  
会場:山口市民会館 大ホール  
[チケット情報]発売中  
[料金]全席指定 ※未就学児入場不可  
前売 一般 S席 4,000円 / A席 3,000円 / ユース割引(25歳以下) 各半額  
※any会員は一般価格より各500円引(1会員4枚まで)



◎文学界の資金難、青山二郎の装画、小林秀雄の熱弁などに感動した。その後、中野の詩が文学界に発表されたのだから、私は心から嬉しく思った。(30代男性 「文学界」と中原中也より)  
◎会場内のどこから見ても絵になる完成度の高い作品でした。見ていて全く飽きません。(50代男性 坂本龍一「ART-ENVIRONMENT-LIFE」より)  
◎暗闇と無音が重なり音のゆらめきが光を感じさせる、これまでにない体験だった。(40代男性 「坂本龍一アーティストトーク&スペシャルコンサート」より)



◎全く知らない演奏家だったが、素晴らしい表現力、構成等感動する。子どもの笑い声が聞こえ、彼ら年少者でも理解できるのに驚く。(70代以上女性 「バググニーニ」より)  
◎周囲の人々との関係から中原中也のキャラクターが見えるようだった。(20代男性 「文学界」と中原中也より)  
◎本当に涙を流して笑った楽しいコンサートでした。体力的にもすごい!!あの姿勢で正確なリズム!!感激しました。(50代女性 「バググニーニ」より)  
◎静かな部屋に水滴が落ちるのが、とても心落ち着いて、日常自分がかげがけに雑な環境で生活しているか気づかされました。(40代女性 坂本龍一「ART-ENVIRONMENT-LIFE」より)

山口情報芸術センター (YCAM)

http://www.ycam.jp/

池田亮司 新作インスタレーション展

「supersymmetry(スーパーシンメトリー)」

2014年4月2日(水)～6月1日(日) 10:00～19:00

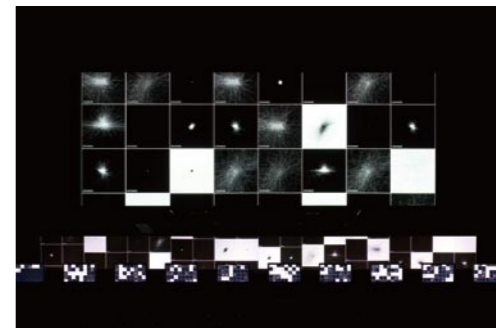
会場:スタジオA、B

世界に衝撃を与える  
 アーティスト池田亮司の最新作

日本を代表する電子音楽作曲家／アーティストであり、常に先進的な電子音表現とインスタレーションで世界に衝撃を与えてきた池田亮司。音／イメージ／物質／物理的現象／数学的概念を素材に、見る者／聞く者の存在を包みこむ様なライブとインスタレーションを展開し、YCAMでも継続的に作品を制作。これまでに発表された作品はどれも高い評価を受け、世界各地の美術館、フェスティバル等で公開されています。

今回は、2012年11月にパリ、ボンビドゥーセンターで発表されたパフォーマンス作品「superposition(スーパーポジション)」をインスタレーション版として新たに制作し、発表します。量子情報理論や素粒子論を美学的な視点から解釈し、池田の得意とするデータ観測表現の限界に迫る、新たな構想を展開したインスタレーションとなります。

料金 | 無料



参考写真:池田亮司「superposition」(2013, KYOTO EXPERIMENT 2013)  
 photo: Kazuo Fukunaga, courtesy: KYOTO EXPERIMENT

わたしはココに注目する!

視覚メディアとサウンドメディアの領域を横断する数少ないアーティストとして、その活動は常に世界の注目を集めてきた池田亮司。本作もすでにフランスをはじめ、様々な国と地域を巡回することが決まっています。世界に先駆けてのYCAMでの初公開、その機会をお見逃しなく!

イ ベ ン ト レ ポ ー ト

坂本龍一「ART-ENVIRONMENT-LIFE」  
 アーティストトーク&スペシャルコンサート

去る1月5日、YCAMで公開中(3月2日で終了)の展示作品をめぐるアーティストトークと、坂本龍一とゲストによるコンサートが行われました。アーティストトークでは、モデレータに京都造形大学の教授・浅田彰を迎え、坂本龍一、高谷史郎の両氏から作品にまつわる様々な話を紹介。また、トークに続いて行われたコンサートは3部構成で場所を移動しながら展開。最初の会場であるスタジオAでは、坂本龍一のピアノソロに続き、雅楽器“笙”の第一人者として活躍する宮田まゆみがソロで演奏。途中ホワイエへ移動し、展示中の「Forest Symphony」のスピーカーから聴こえてくる音に、笙の音を呼応させた即興演奏を披露。またスタジオAに戻ってからは、宮田の笙に坂本龍一が法螺貝で共演するという非常にユニークなデュオ演奏で終わり、他では聴くことのできない、まさにYCAM10周年の最後をしめくくるにふさわしい贅沢なトーク&コンサートとなりました。



■特に記載のない場合、any会員割引は1会員2枚まで。  
 ■いずれの公演も当日券は各種割引の対象外となります。 ■特に記載のない場合、開場は開演の30分前です。  
 ■特に記載のない場合、未就学児入場不可。託児サービスについては、お問い合わせください。



空に届け

昨年の「空の下の朗読会」の様子 出演:カルメン・マキ(Vo)、太田恵實(Vn.)、桜井秀樹(Gt.)

詩よ 音楽よ

詩人・中原中也は、詩の朗読を好み、よく人前で朗読していたといわれています。そんな中也にならない、中也の誕生日である4月29日には、中原中也記念館の前庭で「空の下の朗読会」を開催。自作・お気に入りの詩を朗読する自由参加の朗読会と、中也の詩を音楽にのせて聴かせるゲストによるコンサートを楽しみに、毎年多くの方が訪れています。今回は、谷川俊太郎&谷川賢作親子がゲストで登場。あなたのお気に入りの詩を朗読しに、またゲストの朗読や音楽を聴きに、中原中也記念館へお出かけください。

中原中也生誕祭「空の下の朗読会」

2014年4月29日(火・祝) 12:30～15:00 ※詩の朗読希望者は12:00より受付

会場:中原中也記念館 前庭 (雨天の場合は、山口市民会館 小ホール)

【ゲスト】谷川俊太郎、谷川賢作 【料金】無料(当日は記念館も入館無料)



谷川俊太郎 ◎深堀瑞穂

谷川賢作 ◎深堀瑞穂

mini PICKUP!

池田亮司  
 supercodex [live set]  
 2014年4月19日(土)  
 20:00開演(30分前開場)  
 会場:山口情報芸術センター  
 ホワイエ

左記でご紹介した新作インスタレーション展の関連企画として、池田亮司自らが出演するライブ・パフォーマンスを行います。2013年、5年ぶりにリリースされたCD「supercodex」のライブセットを用いて、YCAMが誇る高音質の音響環境の中で展開していきます。スタジオA、Bの作品空間と共鳴するかのよう、池田亮司の独自の音響世界がYCAMのホワイエを包み込むことでしょう。展覧会とあわせてお楽しみください。

[チケット情報] 発売中  
 [料金] オールスタンディング  
 前売 一般 2,000円  
 any会員・特別割引 1,500円  
 25歳以下 1,300円  
 当日 2,500円

※本作品は、ストロボ効果と重低音・高周波を使用します。心臓の弱い方やペースメーカーをご使用の方などはご注意ください。

旅するYCAM

第17回  
 文化庁メディア芸術祭



「スポーツタイムマシン」(2013, 山口)

アート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの4部門で優れた作品を顕彰する文化庁メディア芸術祭。名誉あるこの賞に今年は山口で制作、発表された作品・プロジェクトも受賞作品に選ばれました。ダンサー・安藤洋子とYCAM InterLabが研究開発してきたプロジェクト「Reactor for Awareness in Motion」がアート部門の審査委員会推薦作品に、また山口の商店街を舞台に行われた「スポーツタイムマシン」がエンターテインメント部門の優秀賞に、同部門の審査委員会推薦作品に「コロガルパビリオン」が選ばれています。2月には東京の国立新美術館をメイン会場に受賞作品展が行われ、受賞や展示を通じてYCAMの活動をより多くの人たちに知っていただく機会となりました。

## 中原中也記念館

http://www.chuyakan.jp/

中原中也記念館 開館20周年記念事業

### 第19回中原中也賞贈呈式&川上未映子×穂村弘トークセッション

2014年4月29日(火・祝) 16:00開演 (トークセッションは17:10開演予定)

会場: 山口市民会館 大ホール

#### ダンスにトーク、盛りだくさんの中也賞贈呈式

毎年、中也生誕の日に行われる中原中也賞贈呈式。今年も、中原中也記念館の開館20周年を記念し、関連企画を用意して盛りだくさんの内容で開催します。山口市内を拠点に活躍する加藤舞踊学院がこの日のために創作したダンスを披露。その後、第19回中原中也賞受賞者・大崎清夏へ贈る贈呈式が行われ、またゲストによるトークセッションもあり。トークには、詩集『先端で、さすわさされるわ そらええわ』で第14回(2009年)中原中也賞受賞、女優・歌手としても活躍する川上未映子と、歌人として、また評論、エッセイなど多彩な表現活動を展開する穂村弘が登場します。



川上未映子 photo:石倉和夫 穂村弘

**わたしはココに注目する!**  
トークセッションでは、中原中也の詩を中心に、それぞれ幅広い活動をされている2人ならではの話が聴けるのではないのでしょうか。めくるめくトークのゆけえにご注目。

チケット情報 発売中

料金 全席自由 前売 一般 800円 any会員・大学生以下 500円  
当日 1,000円 ※3歳以上有料(3歳未満は膝上鑑賞無料。ただし、席が必要な場合は有料)

## 検定 中也



Q 中原中也記念館は今年で20周年を迎えましたが、20歳頃の中也は、東京・中野で一人暮らしをしながら、詩人として飛躍することを夢見ていました。日々の感想録として使用していた当時の日記帖には、現代の私たちからすると、20歳の若者の感想にしてはかなりの皮肉が効いているように思われる言葉が多く見受けられます。その中に「俗人にとつて理性とは、〇〇のことだ。」という一節があります。この〇〇に当てはまる2文字はどれでしょうか?

- 感性
- 道徳
- 策略

答えは14ページ

### 【受賞者コメント】



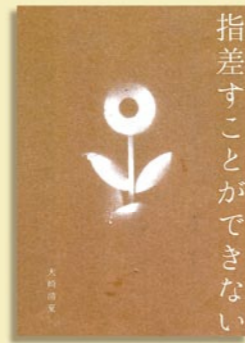
大崎清夏  
OSAKI Sayaka

私は私の周りにいるたくさんの方の芸術家たちに、いつも圧倒されてきました。そのなかには同世代の人もいれば、ずっと昔に死んでしまった名前すらわからない人もいて、そのひとりひとりに圧倒されながら励まされて、言葉とのこの愉快で恐ろしい遊びを続けていくことができました。この詩集を編んでいたときも同じでした。直接的に、あるいはかれらの芸術を通して、さまざまな声で叱咤激励してくれた皆さんと、湯水のように絵本を与えてくれた母に、この場を借りて、感謝の気持ちを伝えたいと思います。

1982年生まれ。東京在住。早稲田大学第一文学部卒業。2010年、第1詩集『地面』(アナグマ社)を刊行。13年9月、第2詩集『指差すことができない』(アナグマ社)を刊行。同詩集が、228冊の応募・推薦詩集の中から第19回中原中也賞を受賞する。

境界線をきめる協議が  
きょうもいたるところにあって  
健康には定義がなくなった  
吸収してもくるしい  
排泄してもくるしい  
だからたのしい気持ちで  
働くしかなかった  
ごっこつした岩場に生える  
黒髪のような海藻をはがして  
それを食べた  
売ったりしながら  
女の子たちは笑っている

「指差すことができない」(『指差すことができない』所収) より抜粋



指差すことができない

## 第19回 中原中也賞

●笙の演奏はとても心地よく、ハーモニカのようなオルガンのような懐かしさも感じ、神聖なお正月にふさわしい音色でした。(40代女性 「坂本龍一アーティストトーク&スペシャルコンサート」より)  
●他の作家・詩人の方との交流から影響を受け、生まれた詩の数々が素敵だった。本の表紙のデザインが楽しかった。(30代女性 「『文学界』と中原中也」より)  
●もしかすると坂本さん法螺を吹くのかと思いましたが、水の音でしたか? (『坂本龍一アーティストトーク&スペシャルコンサート』より)

## 山口市民会館

http://www.c-able.ne.jp/~shiminkk/

### Every Little Thing Concert Tour 2014 ~FAN-FARE~

2014年4月11日(金) 18:30開演

会場: 大ホール

#### デビュー18年目のELTはますます輝く!

ボーカル・持田香織、ギター・伊藤一郎の男女2人による音楽ユニット“Every Little Thing(通称ELT)”。1996年にデビューし、3rdシングルとして発表された「Dear My Friend」を皮切りに、次々とヒットを続け、一躍90年代を代表するミュージシャンへと駆け上がります。その後、活動休止やメンバーの脱退などを経験しながらも、真摯に音楽に向き合い活動を続けてきたELT。いまま第一線で活躍し、デビュー18年目を迎えるに輝きを増しています。今回のライブは2014年2月にリリースのアルバム「FAN-FARE」の収録曲を中心に、いつもと変わらず熱いパフォーマンスと歌声を聴かせてくれることでしょう。ボーカル・持田香織の歌詞を一言一言大切に、気持ちを込めて歌うその姿勢は、聴く者の胸を熱くします。ELTの最高のパフォーマンスを味わえるコンサートにぜひお出かけを。



**わたしはココに注目する!**  
ここでしか聞けない裏話や、ぼけとつっこみ、まるでコントのような2人のMCが楽しめるのも、コンサートに行く醍醐味の一つ。笑いで満たされるこの時間もお楽しみください。

チケット情報 発売中

料金 全席指定 前売 6,950円 ※3歳以上有料(3歳未満は膝上鑑賞無料。ただし、席が必要な場合は有料)

### なごみーず アコースティック ナイト in 山口

2014年7月3日(木) 19:00開演

会場: 山口市民会館 大ホール

元かぐや姫・風の伊勢正三、太田裕美、元ガロの大野真澄によって2004年に結成されたユニット。ほのぼのとしたコンサートが好評で、すでに全国で170回を超えるコンサートを実施しています。「22才の別れ」「木綿のハンカチーフ」「学生街の喫茶店」などなど、時を経てもなお心に残る名曲の数々をお届けします。青春を過ごした世代にとっては懐かしく、また若い世代にとってはどこかで聴いたことがあるメロディーと歌詞ばかり。誰が聴いても楽しめるコンサートです。

チケット情報 any会員先行予約 4月12日(土)~

一般発売 4月26日(土)~  
料金 全席指定 前売 一般 5,000円 any会員 4,500円  
当日 5,500円



### 京都市交響楽団 山口公演

2014年9月7日(日) 17:00開演 会場: 山口市民会館 大ホール

古都京都の新しい文化創造の担い手として1956年に創立された京都市交響楽団。近年の演奏活動は、京都府内にとどまらず、全国各地へと広がりを見せ、各地で評価を高めています。この度の山口公演では、ジャズピアニストの山下洋輔をソリストに迎え、常任指揮者の広上淳一による指揮で、オーケストラの魅力たっぷりの演奏をお届けします。

[チケット情報]

any会員先行予約 6月1日(日)~  
一般発売 6月15日(日)~  
[料金]全席指定  
一般 S席 6,000円  
A席 5,000円  
※any会員 各5,000円引(1会員4枚まで)

先行チケット  
発売情報  
早チケ  
any会員  
先行予約  
4月12日



any会員  
先行予約  
6月1日

# any通信

今年も桜の季節が  
めぐってきました。  
新しい出会いにわくわく。



2月にリニューアルオープン、  
新しい展示も始まっています。



リニューアルオープン当日の館内の様子

開館20周年を迎え、2月16日にリニューアルオープンした中原中也記念館。新しい常設テーマ展示と企画展がこの日同時に始まり、大勢の中也ファンがかけつけました。記念式典と、それに続く展示解説で館内はとてにぎやかな雰囲気になっていました。午後からは、開館20周年記念事業の一つとして、中

也と恋人関係にあった長谷川泰子が出演する映画「眠れ蜜」を山口情報芸術センターで上映。満席に近いお客様が来場し、また上映後は、本作品の脚本を手掛けた詩人・佐々木幹郎氏によるトークにも熱心に耳を傾けられていました。そのすぐ後の2月末には入館者数が60万人に達したという嬉しいニュースも。今後も11月末まで20周年記念事業を様々な展開していきます。どうぞお楽しみに!!

## コロガルパビリオン復活!?

昨年、YCAM前の中央公園に出現し、子どもたちの元気な声が飛び交っていた「コロガルパビリオン」。会期中5万人を集め、最後は「コロガルパビリオンでもっと遊びたい!」「やめないで欲しい、また再開して欲しい!」という子どもたちの声が広がり、存続を求める自主的な署名活動へと発展しました。

そんなにも子どもたちの心に響いた場所「コロガルパビリオン」が、みんなの気持ちに応えるべく、今年もまた再開されるという速報が届きました! 再開の日程は現在調整中。夏休みにはまた遊べるはず!? みなさん、期待して待っていてくださいね!



「コロガルパビリオン」で元気に遊ぶ子どもたち

## ARTIST VOICE

アーティスト  
ボイス

### 文月悠光 (詩人)

2010年、第15回中原中也賞を受賞した文月悠光さんは、当時北海道の高校に通う3年生でした。その後、東京の大学に進学。大学在籍中も、様々なジャンルで活動し、活躍の幅を広げています。10代で手にした中也賞。文月さんは、このとき受賞に対してどんな思いを持ち、また授賞式のために訪れた山口で何を感じたのでしょうか。

### 山口から応援してもらっているような、心強い気持ちになる。



私にとっての山口の風景は、湯田温泉の長閑な通りと中原中也記念館の洗練された佇まいだ。4年前に初めて訪れたときは18歳。受賞者として中原中也賞の授賞式に出席した。鮮やかに思い出されるのは、記念館にて中也の誕生日に開催された〈生誕祭「空の下」朗読会〉。授賞式の前にステージに立たせていただき、「汚れつつも悲しみに……」と自作の詩

を朗読した。澄んだ空の下、谷川賢作さん率いるDiVAの演奏がほらかに響いていた。半袖の黒いワンピースに4月の風がひやりと触れた。地元の詩人をこれほど愛し、詩に親しんでいる土地があるなんて。思ってもみなかった大きな賞。受賞に対する恐れや戸惑いが、素直な喜びに転じていくのを感じた。

今年も中原中也記念館から「年間カレンダー」が届いた。2014年は開館20周年の記念の年。自分のこれからの一年を思い描きながら、魅力的な展示概要を眺める。山口から応援してもらっているような、心強い気持ちになるのだ。

### 第15回中原中也 式 2010年4月29日 会場:ホル



2010年、当時高校3年生の文月悠光さんが編んだ詩集「適切な世界の適切な私」(思潮社)が、第15回中原中也賞に選ばれ、話題を集める。14歳から17歳までに書かれた詩がつつられた受賞について、選考委員からは「若い敏感で痛々しい女性の身体感覚で世界を触っている。その詩のやわらかく伸びやかな姿が、現代詩という枠を超えた広い共感の場所を作りだしていた」と評価され、若き詩人のさらなる活躍に大きな期待が寄せられた。

### 文月悠光 FUZUKI Yumi

1991年北海道生まれ。早稲田大学教育学部をこの春卒業。2008年第46回現代詩手帖賞。10年、詩集「適切な世界の適切な私」(思潮社)で第15回中原中也賞、第19回丸山豊記念現代詩賞を受賞。13年、第2詩集「屋根よりも深々と」を思潮社より刊行。雑誌や新聞で詩、エッセイ、書評を発表するほか、第80回NHK全国学校音楽コンクール高等学校の部課題曲「ここにいる」の作詞を手がけるなど、紙媒体以外の活動も注目されている。

## お先に 試写し しました



©2013「ペコロスの母に会いに行く」製作委員会

### 「ペコロスの母に会いに行く」

(2013年/日本/113分)

【監督】森崎東 【原作】岡野雄一 【出演】岩松了、赤木春恵、原田貴和子、加瀬亮、竹中直人、原田知世

「ニワトリはハダシだ」という映画がある。9年ぐら前にYCAMで上映した映画だ。上映を終えると、アルバイトのS山君が大泣きして場内から出てきた。嗚咽して、もう声が出ない。とにかく感動したようだった。それはよく分かるし、気持ちも理解できたが、とにかく、わんわん泣きながら言葉にならない言葉を発する。しかも、そんな人を間近で見たことがあまりなかったものだから、とにかくその出来事は深く脳裏に染み付いていた。だから、私はそれ以後、森崎東の名を聞く度にS山君の号泣する姿が自動的に脳裏に浮かぶようになった。

さて、その森崎監督の10年ぶりの新作。泣いたり笑ったり、とにかく喜怒哀楽全ての感情を駆使して見る、そんな映画だった。痴呆になってしまった母とその息子、その周辺の人々の現在の状況を描いているのだが、そもそも介護だけを描いているわけじゃない。母の痴呆がゆっくり進んでいく、その日々が描かれるととも

に、母の子供の頃からの記憶も同時に描かれ、物語は時に交差しながら進んでいく。そのドラマの中には実はさりげないけれども、考えてしまうことだったり、笑ったり、泣いたり、感動するエピソードがいくつもあって、映画だ、ドラマだ。ふと9年前を思い起こせば、「ニワトリはハダシだ」でも同じようなことを深く思ったのだが、先にS山君に泣かれてしまい、圧倒されてしまったのだった。そういうわけで、「ペコロスの母に会いに行く」の上映にあわせて、森崎監督の旧作も上映する。そちらもぜひご覧を!

松富淑香 (YCAM シネマ担当)

2014年5月5日(月・祝)、6日(火・休)、  
10日(土)、11日(日)  
会場:山口情報芸術センター スタジオC

【料金】一般 1,300円  
any会員・特別割引・25歳以下 800円  
※上映開始時間はお問い合わせください。



©2013「ペコロスの母に会いに行く」製作委員会

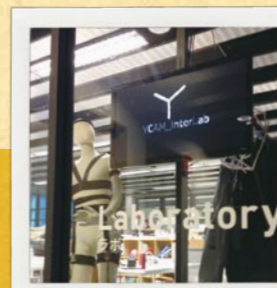
### 「ペコロスの母に会いに行く」作品紹介

長崎在住の漫画家・岡野雄一のエッセイ漫画を映画化。痴呆がはじまった母と息子とその周囲の人々の日常を喜劇映画の巨匠・森崎東監督が描く。「映画芸術」2013日本映画ベスト・テン第1位、キネマ旬報日本映画ベスト・テン第1位に選ばれた話題作。

## MY FAVORITE

YCAMのラボラトリー(作業工房)ではスタッフが日夜、YCAMでの展示、上演のための研究・創作活動に励んでいます。不思議なマシン、たくさんの電子パーツ、怪しげなマネキンなどで溢れかえる空間は、クリエイティブなものづくりにはぴったり!

今野恵菜 (山口情報芸術センター 職員)



今野恵菜

## いらっしませ



### ホットサンドセット

850円

※ホットサンド単品は420円

### 湯田の街をずっと見守る名店喫茶

45年前から変わらないたずまいの喫茶店ばな一。今日は30年以上定番メニューとして愛されているホットサンドを注文。おっ、さっそくパンが焼けるいい匂いが…。三角形に切られたトーストからのぞいたまごやレタス、そしてパンのこんがりついた焼き目がなんとも食欲をそそる。では、いただきます! 外のパンはカリッと香ばしく、なかのチーズはいい具合にとろ～りつけて、さらに優しい味のマヨネーズに包まれたたまごやハム、野菜たち。この生野菜のシャキシャキとした歯ごたえもいい。セットで頼んだ旬の生フルーツがたっぷり入ったヨーグルトも実にあう。懐かしくてホットする味に幸せな時間をいただきました。

### 喫茶ばな一

山口市湯田温泉1-11-35 TEL.083-922-0800

営業期間:10:00～20:00(水曜日のみ15:00まで)

休業日:年末年始のみ

※any会員の方はソフトドリンク全品50円引。

## GOOD GOODS



中原中也記念館公式ガイドブック  
「中原中也の世界」

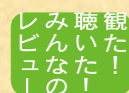
### 見て楽しめる中也入門書

中原中也記念館では、開館20周年を記念して公式ガイドブックを作成。中原中也の自筆原稿、書簡、日記や遺品など、記念館が所蔵する貴重な資料の鮮明な画像をふんだんに使い、これまで開催してきた様々な企画展のエッセンスを盛り込んだ、分かりやすい解説をつけました。「自筆原稿で読む中也の詩」「所蔵資料から」などのパートでは、実物の資料を見ながら学芸員の解説を聞くような気分でも、中也の詩を味わっていただけます。ご来館の記念として、また中原中也の入門書として最適の一冊です。

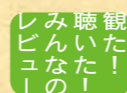
価格:1,200円(税込)

サイズ:A4

オールカラー96ページ



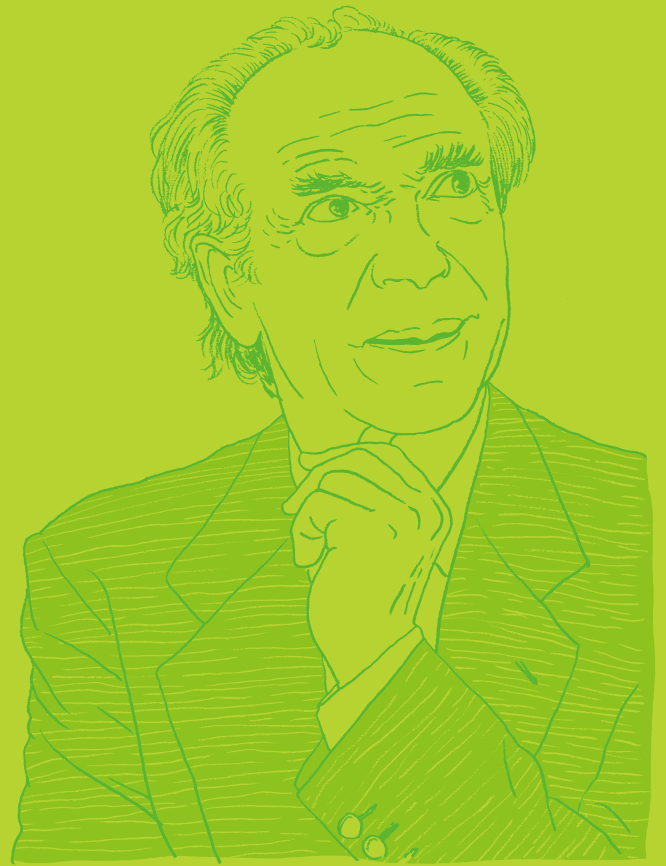
●こんなに夢中になれるコンサートは初めてでした。弦楽器って色んな音と色んな表現ができるんですね。(40代女性 「バグニニ」より)  
●水の表情から、美しさや怖さを感じました。振動させている時は、水のゆらめきから燃えさかる炎をイメージさせられました。(20代男性 坂本龍一「ART-ENVIRONMENT-LIFE」より)  
●文学界の表紙をたくさん見ることができて楽しかった。「学」の字が上に少し上がついているという解説文も嬉しかった。(20代女性 「文学界」と中原中也)より



●水槽と光と水蒸気と音楽と映像。とても強烈で脳がフル活動して、刺激的でした。音波や水滴でこんなことができるのか! (30代女性 坂本龍一「ART-ENVIRONMENT-LIFE」より)  
●毛色の変わった演奏会だとは認識していたけど、まさにその通り。音色はすごい。彼らのショー・マンシップにブラボー。(70代以上男性 「バグニニ」より)  
●前回2007年の展覧会が良かったので、また来ました。今回は音声ガイドがあってとても良かった。(坂本龍一「ART-ENVIRONMENT-LIFE」より)  
●弦楽四重奏はクラシックの中でも比較的地味なジャンルですが、まさかここまで楽しめるとは…。(「バグニニ」より)







公益財団法人  
山口市文化振興財団  
Yamaguchi City Foundation for Cultural Promotion

